

氏名	新井 恵	部署	健康開発学科	職名	准教授
研究分野	口腔保健学				
学位	博士（口腔生命福祉学）				
学歴	1994年3月埼玉県立衛生短期大学歯科衛生学科（現埼玉県立大学保健医療福祉学部健康開発学科口腔保健科学専攻）、2004年3月放送大学教養学部、2009年3月筑波大学大学院教育研究科カウンセリング専攻リハビリテーションコース、2019年3月新潟大学医歯学総合研究科口腔生命福祉学専攻修了				
経歴	2000年埼玉県立大学短期大学部歯科衛生学科（現埼玉県立大学保健医療福祉学部健康開発学科口腔保健科学専攻）助手、2006年埼玉県立大学保健医療福祉学部健康開発学科口腔保健科学専攻助教、2013年埼玉県立大学保健医療福祉学部健康開発学科口腔保健科学専攻講師、2018年埼玉県立保健医療福祉学部健康開発学科口腔保健科学専攻准教授				
所属学会（役職）	日本歯科衛生学会（幹事、編集委員会副編集長）、日本歯科衛生教育学会、日本口腔衛生学会、日本公衆衛生学会、日本歯科医学教育学会、新潟歯学会、埼玉県立大学保健医療福祉科学会				

【2024年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数		著者、編者名	発行等年月
1	該当なし						
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	透析患者に対して歯科衛生士が行う口腔健康教育の有用性	共著	あり		新潟歯学会雑誌 54(1);P 21-27	新井恵、葭原明弘	2024.7
2	第1回 統計学の基本的な考え方から統計学的検定方法の選択まで	共著	なし		日本歯科衛生学会雑誌；18（2）； P.14-25	野村義明、松田悠平、新井恵、伊藤奏、藤原奈津美、西村留美、白部麻樹、野口有紀、森下志穂、畠中能子	2024.8
(3) 学会発表							
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者（発表者は○印）		発表等年月
1	歯科衛生学生における死の不安に関する調査	共同	日本歯科衛生学会19回学術大会、新潟市		○新井恵、平野裕子、秋山恭子		2024.9
2	学生のレディネスの違いによる歯科衛生士の倫理綱領の理解度に関する調査	共同	第14回日本歯科衛生教育学会学術大会、大阪府枚方市		○秋山恭子、戸田花奈子、新井恵		2024.12
(4) その他							
	名称	単・共	発表場所等		発表者（発表者は○印）		発表等年月
1	該当なし						
2. 競争的資金等の研究							
	競争的資金等の名称	研究名			研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	該当なし						
3. 教育業績							
(1) 講義							
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）			
1	口腔保健科学概論	○	16	科目責任者として、歯科衛生士の歴史と医療倫理、歯科衛生士の役割等の講義や歯科クリニックで早期体験実習を実施した。			
2	ヒューマンケア論		2	「ヒューマンケアの視点から考える健康とは」のテーマで歯科衛生士の視点から考える健康やヒューマンケアについて講義をした。			
3	がん看護		1	がん治療期の口腔内症状の予防ケア、がん治療後の後遺症とケアについて講義をし、口腔清掃用具の紹介や唾液腺マッサージを実践した。			

(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	歯周病予防処置論Ⅰ	○	16	科目責任者として、模型上での歯周病予防処置法の実習を通し、専門的知識の習得と基礎的な技術を修得できるよう授業を行った。
2	歯周病予防処置論Ⅱ	○	32	科目責任者として、模型実習と学生間の相互実習を通して歯周病予防に必要な技術を修得できるよう授業を行った。グループワークで歯科衛生士として必要なコミュニケーション能力の養成を行った。
3	口腔保健科学実践特論	○	16	科目責任者として、歯科衛生実践能力として4年間学んできた知識・技術・態度を再確認し、対象者に応じた歯科衛生業務を行う能力を養ため、事例検討やグループワークを取り入れた授業を行った。
4	口腔機能管理論	○	16	科目責任者として、受講学生が4年間学んできた知識・技術・態度を再確認し、対象者に応じた口腔機能管理を行う能力を養ため、外部施設の見学やグループワークを取り入れて授業運営を行った。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	歯周病予防処置論Ⅲ	○	32	科目責任者として、歯科衛生過程を用いた模擬症例の検討や学生間の相互実習を通じて臨床に必要な知識と技術を修得できる授業を行った。
2	臨地・臨床実習Ⅰ		2024.4～2024.8	科目担当者として、臨地・臨床実習及び代替実習が円滑に進むように指導をした。
3	臨地・臨床実習Ⅱ		2024.12～2025.3	科目担当者として、臨地・臨床実習及び代替実習が円滑に進むように指導をした。
4	臨地・臨床実習Ⅲ		2024.4～2024.8	科目担当者として、臨地・臨床実習及び代替実習が円滑に進むように指導をした。
5	臨地・臨床実習Ⅳ		2024.4～2024.8	科目担当者として、臨地・臨床実習及び代替実習が円滑に進むように指導をした。
6	臨地・臨床実習Ⅴ		2024.4～2024.8	科目担当者として、臨地・臨床実習及び代替実習が円滑に進むように指導をした。
7	IPW体験実習		2024.8～2024.10	施設ファシリテーターとして、専門職連携実践の方法を身につけることができるよう学生の支援をした。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2024.4～2025.1	主指導 2名	副指導 0名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	学生アドバイザー	2024.4～2025.3	口腔保健科学専攻1年次から4年次までの混合編成アドバイザーグループの担当として、学生指導を行った。	
2	非常勤講師担当科目の教育支援	2024.4～2025.3	非常勤講師が科目責任者である口腔保健科学専攻専門科目1科目について、学内担当として連絡調整し学生が学びやすい環境を整えた。	
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	リアル体験教室	埼玉県	歯と健康を守る歯科衛生士になりたい	2024年7月
2	埼玉県立大学口腔保健科学専攻公開講座	埼玉県立大学 口腔保健科学専攻	お口の健康づくり講座	2024年10月
3	埼玉未来大学 ライフデザイン科通学講座	公益財団法人 いきいき埼玉	オーラルフレイル防止の秘策	2024年12月
4	研究開発センターシンポジウム2024市民体験講座	埼玉県立大学研究 開発センター	長寿の秘訣：咀嚼力の判定とその重要性	2025年2月

(2) 国、自治体、学術団体等における委員等			
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期
1	全国大学歯科衛生士教育協議会	理事	2015.4～現在
2	全国大学歯科衛生士教育協議会 教育・研究委員会	教育・研究委員	2015.4～現在
3	全国大学歯科衛生士教育協議会 編集委員会	査読委員	2017.4～現在
4	歯科衛生士試験委員会	委員	2019.6～現在
5	日本歯科衛生学会 編集委員会	副編集委員長	2021.4～現在
6	日本歯科衛生学会	幹事	2023.6～現在
(3) ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
(4) その他			
	項目	相手方等	内容 期間
1	該当なし		
5. 学内運営			
	項目	内容	期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	情報図書委員	2024.4～
2	全学的委員会及びセンター業務等	ハラスメント委員	2024.4～
3	大学広報活動	オープンキャンパス	2024.6、2024.8
4	学科等における委員会等	2年学年担任	2024.4～2025.3
5	該当なし	オープンカレッジ卒業生対象「超音波スケーリングに関する講座」	2025.2
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
	該当なし		